

# ユニット・リンク ユニット・リンク保険(有期型)

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

## 2008年度 (2009年1月～2009年3月) 特別勘定の現況

### 決算のお知らせ

#### ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

#### アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン\*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

\*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

#### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社



ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSgA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統ある金融機関です。

#### アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社



アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。  
 ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2008年4月～2009年3月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比36.22%下落の773.66ポイント(前期末は1,212.96ポイント)で終了しました。

6月初旬にかけて、米株高や円安進行を背景に一時1,400ポイント台まで上昇しました。しかしその後は、資源価格高騰による企業収益圧迫懸念などから下落に転じました。9月に入ると米大手証券の経営破綻を受けて金融システム不安が再燃し、金融市場は大混乱となり急落しました。その後は、金融不安の実体経済への波及や円高進行が嫌気される一方、各国の経済対策への期待が交錯し、安値圏で変動の激しい展開となりました。3月には一時700ポイントを割込み、バブル崩壊後の安値を更新しました。

業種別(東証33業種)では、円高・原油安等によるコスト低下期待から「パルプ・紙」(前期末比 5.18%)の下落率が限定的だった一方、軟調な海運市況を背景に「海運業」(同 61.35%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、下落しました。NYダウは前期末比 37.95%下落の7,608.92ポイント(前期末は12,262.89ポイント)で終了しました。5月中旬にかけて堅調な推移で始まったものの、その後は米政府系住宅公社(GSE)の破綻懸念や米大手証券の経営破綻を契機に急落しました。11月以降、オバマ次期米大統領の経済対策への期待などから一時的に反発する局面もありましたが、米自動車会社の経営危機などから引き続き景気後退が懸念され、概ね軟調な展開となりました。

欧州株式市場は、下落しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比31.15%下落、仏CAC40は同 40.36%下落、独DAXは同 37.49%下落となりました。世界的な金融不安の深刻化などを背景に、概ね米国同様の動きとなりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、期初の金利上昇後は低下基調で推移し、当期末の新発10年国債利回りは1.340%となりました(前期末は1.275%)。

資源価格高騰による世界的なインフレ懸念を背景に金利は上昇基調で始まり、6月に一時1.9%近傍まで上昇しました。その後は、金融不安を背景とする世界的な景況感の悪化や金融緩和策の実施、4-6月期以降連続してマイナスとなった実質GDP成長率など軟調な国内経済指標を受けて、12月には1.1%台まで低下しました。期末にかけては、追加経済対策に伴う国債需給悪化懸念を嫌気した債券売りが台頭し、1.3%前後の狭い範囲で採み合いながら推移しました。

日銀は、前期末年0.5%であった政策金利を当期末までに年0.1%まで引き下げました。

無担保コール(翌日物)は前期末0.5%程度から当期末0.1%程度に水準を切り下げ推移しました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場は、期後半に金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは期前半は4.0%前後で堅調に推移しましたが、その後米大手証券の経営破綻などをを受けて投資家のリスク回避傾向が高まる中、米FRB(連邦準備制度理事会)による利下げやインフレ圧力の低下を背景とした国債買いが優勢となり、当期末は2.663%となりました(前期末は3.410%)。

欧州債券市場は、期中頃に金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは7月に4.6%台まで上昇した後、世界的な金融市場の混乱に加え軟調な域内経済指標を受けて、低下の一途を辿り、当期末は2.994%となりました(前期末は3.899%)。

米FRBは、前期末年2.25%であったFF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を当期末までに年0.0～0.25%まで引き下げました。ECB(欧州中央銀行)は前期末年4.0%であった政策金利を7月に年4.25%としましたが、当期末までに年1.5%まで引き下げました。

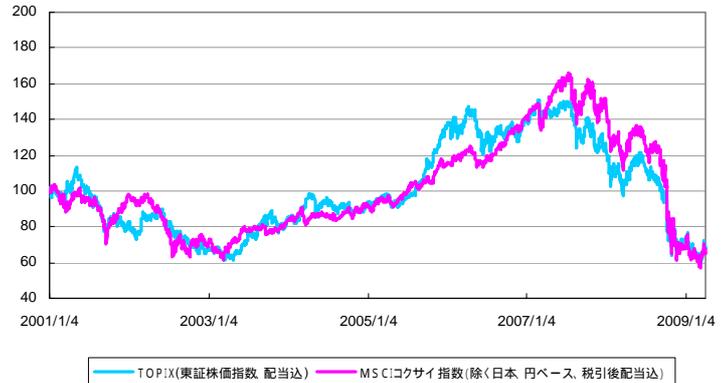
#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、インフレ懸念を背景に米FRBによる過度な利下げ観測が後退し、8月には1ドル=110円台まで円安が進行しました。9月以降は金融不安が再燃し、12月には13年ぶりに87円台まで円高が進行しました。期末にかけては、国内の景況感悪化を背景とした円売りが戻す展開となりました。円は対ドルで前期末比1円96銭(+1.96%)円高ドル安の1ドル=98円23銭(前期末は1ドル=100円19銭)となりました。

ユーロ/円相場は、インフレ懸念を背景にECBによる利上げ観測が台頭し、7月には1ユーロ=169円台まで円安が進行しました。8月以降は欧州での景気後退の深刻化懸念やECBの大幅な利下げによる金利差縮小を受けて、急激に円高が進行しました。円は対ユーロで前期末比28円35銭(+17.92%)円高ユーロ安の1ユーロ=129円84銭(前期末は1ユーロ=158円19銭)となりました。

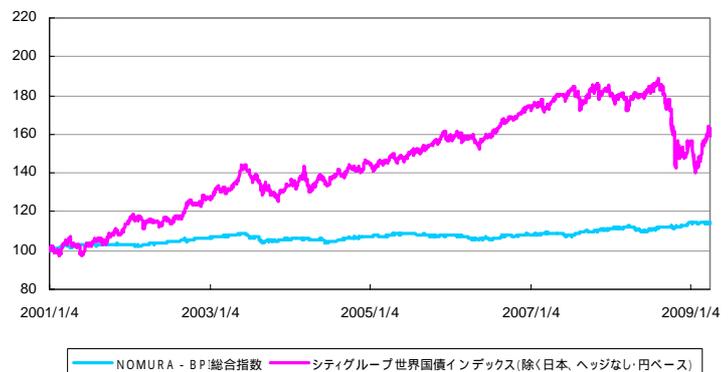
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

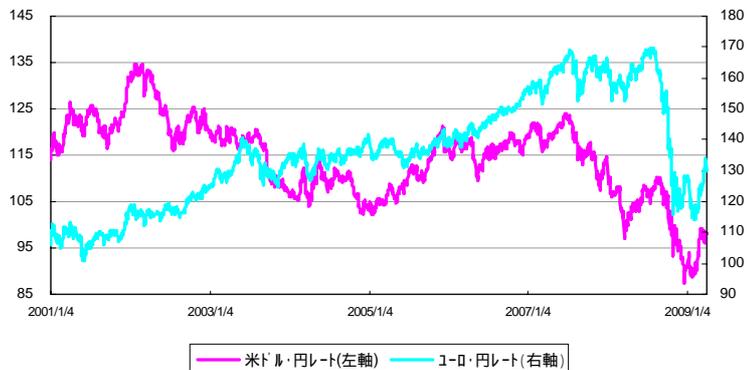


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		
			投資信託名	運用方針	委託会社
安定成長 バランス型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を行 います。実質組入外貨建資産の為 替変動リスクに対するヘッジは原則 として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、 外国株式20%、日本債券30%、外 国債券30%とし、一定の規律に従 いりバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・ スタイル・ブレンド・ファンド - 2	特別勘定[日本株式プラス型]の運用方針をご参照ください。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
	外国 株式 20%		適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式 スタイル・ブレンド・ファンド - 1	特別勘定[外国株式プラス型]の運用方針をご参照ください。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
	日本 債券 30%		ステート・ストリート日本債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の 公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI総合指 数 <sup>*2</sup> )に連動した投資成果をめざします。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会 社
	外国 債券 30%		ステート・ストリート外国債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除 く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチ マーク(シティグループ世界国債インデックス <sup>*3</sup> (除く日本、 ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外 貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会 社
積極運用 バランス型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を行 います。実質組入外貨建資産の為 替変動リスクに対するヘッジは原則 として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、 外国株式35%、日本債券20%、外 国債券20%とし、一定の規律に従 いりバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・ スタイル・ブレンド・ファンド - 2	特別勘定[日本株式プラス型]の運用方針をご参照ください。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
	外国 株式 35%		適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式 スタイル・ブレンド・ファンド - 1	特別勘定[外国株式プラス型]の運用方針をご参照ください。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
	日本 債券 20%		ステート・ストリート日本債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の 公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI総合指 数 <sup>*2</sup> )に連動した投資成果をめざします。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会 社
	外国 債券 20%		ステート・ストリート外国債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除 く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチ マーク(シティグループ世界国債インデックス <sup>*3</sup> (除く日本、 ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外 貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会 社

特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		
		投資信託名	運用方針	委託会社
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンド - 2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象 に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュール株(割安株)及びグ ロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いりバランス <sup>*1</sup> を行 います。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ 海外株式スタイル・ブレンド・ ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国 の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュ ール株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従い りバランス <sup>*1</sup> を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ グローバル・ボンド・ファンド - 3	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象 に相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行 います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・パ ースタイン株式会 社
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ・ローゼンバーク・ 日本円マネー・プール・ファンド(B) 適格機関投資家私募	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に 投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ・ローゼ ンバーク証券投 資顧問株式会 社

特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。  
なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。  
特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
お問合せ先: カスタマーサービスセンター  
Tel 0120-936-133  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

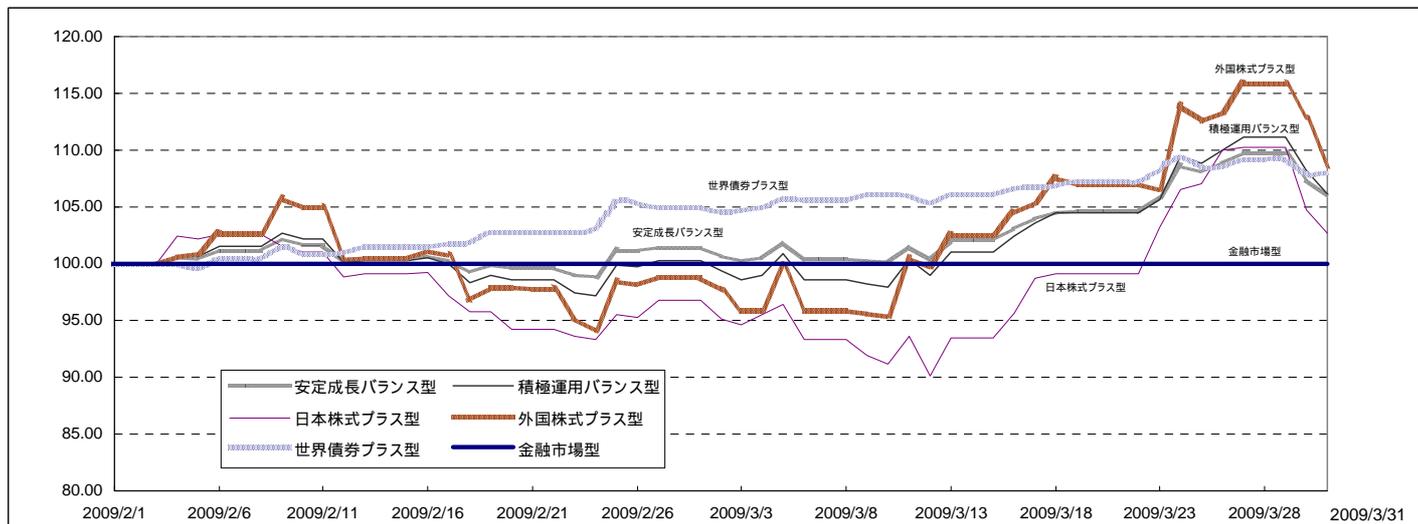
## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [ 2009年3月 末日現在 ]

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



#### 特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高
	金額(千円)
安定成長バランス型	10,464
積極運用バランス型	7,916
日本株式プラス型	3,960
外国株式プラス型	2,717
世界債券プラス型	1,215
金融市場型	255

金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定 安定成長バランス型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用方針

〔運用者〕 アクサ生命保険株式会社

〔運用方針〕

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1</sup>を行います。

利用する投資信託の情報につきましては、以下をご参照ください。

#### 特別勘定の資産構成

	基本資産配分	特別勘定
日本株式	20.00%	21.19%
外国株式	20.00%	20.44%
日本債券	30.00%	27.83%
外国債券	30.00%	28.97%
現金・コールローン	-	1.57%
合計	100.00%	100.00%

上記比率は、特別勘定資産残高に対する比率となります。

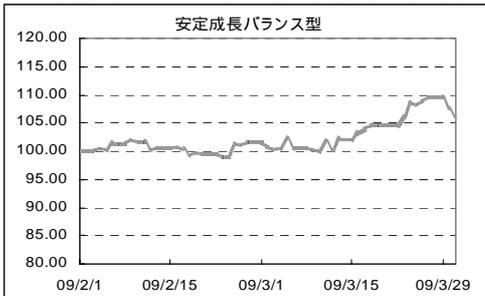
資産クラス	利用する投資信託		参照ページ
	投資信託名	運用方針	
日本株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュール株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1</sup> を行います。	8ページ
外国株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュール株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1</sup> を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	9ページ
日本債券	ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数 <sup>2</sup> )に連動した投資成果をめざします。	7ページ (上段)
外国債券	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス <sup>3</sup> (除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	7ページ (下段)

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+6.04%となりました。  
2008年の金融システム不安による混乱から市場が落ち着きを取り戻したことにより、当期はどの資産クラスも概ね堅調に推移しました。資産配分比率の30%を占める外国債券が、各国中銀による金融緩和策などを受けて好調に推移したことが大きくプラスに影響しました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率(%)	
2009年3月末	106.04	過去1ヵ月	4.53
2009年2月末	101.45	過去3ヵ月	-
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	6.04

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	164	1.6
その他有価証券	10,300	98.4
合計	10,464	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	506
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	506

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 〔引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定 積極運用バランス型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用方針

〔運用者〕 アクサ生命保険株式会社

〔運用方針〕

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1</sup>を行います。

利用する投資信託の情報につきましては、以下をご参照ください。

#### 特別勘定の資産構成

	基本資産配分	特別勘定
日本株式	25.00%	26.16%
外国株式	35.00%	35.02%
日本債券	20.00%	18.34%
外国債券	20.00%	19.08%
現金・コールローン	-	1.41%
合計	100.00%	100.00%

上記比率は、特別勘定資産残高に対する比率となります。

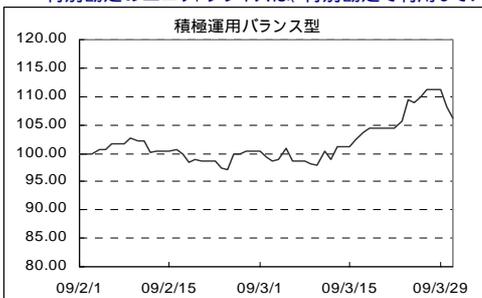
資産クラス	利用する投資信託		参照ページ
	投資信託名	運用方針	
日本株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュール株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1</sup> を行います。	8ページ
外国株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。パリュール株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1</sup> を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	9ページ
日本債券	ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数 <sup>2</sup> )に連動した投資成果をめざします。	7ページ (上段)
外国債券	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス <sup>3</sup> (除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	7ページ (下段)

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+6.15%となりました。  
2008年の金融システム不安による混乱から市場が落ち着きを取り戻したことにより、当期はどの資産クラスも概ね堅調に推移しました。資産配分比率の20%を占める外国債券が、各国中銀による金融緩和策などを受けて好調に推移したことが大きくプラスに影響したほか、資産配分比率の35%を占める外国株式が、投資家のリスク許容度が改善したことを受けて上昇傾向だったことがプラスに影響しました。資産配分に関しては、基本資産配分を概ね維持しております。  
今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	106.14	過去1ヵ月	5.83
2009年2月末	100.30	過去3ヵ月	-
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	6.15

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	積極運用バランス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	111	1.4
その他有価証券	7,805	98.6
合計	7,916	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	447
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	447

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 〔引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

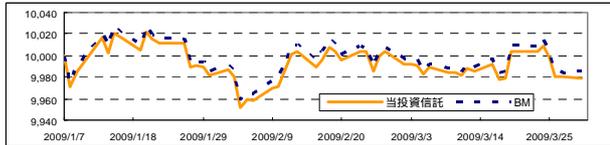
## 特別勘定の現況

（2009年1月～2009年3月）

- ここでは、「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### （参考情報）ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2009年3月末日現在]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.32%	-	-	-	-	0.29%
BM	0.32%	-	-	-	-	0.25%
差	0.00%	-	-	-	-	0.04%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。「BM」とは、ベンチマークを指します。

#### 当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数<sup>2</sup>)に連動した投資成果をめざします。当投資信託は、主としてステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第224回利付国債	1.800%	2010年9月20日	2.37%	0.25%
2	第232回利付国債	1.200%	2011年6月20日	2.36%	0.30%
3	第223回利付国債	1.700%	2010年9月20日	2.03%	0.50%
4	第259回利付国債	1.500%	2014年3月20日	2.00%	0.69%
5	第248回利付国債	0.700%	2013年3月20日	1.82%	0.33%
6	第229回利付国債	1.400%	2011年3月21日	1.60%	0.59%
7	第221回利付国債	1.900%	2010年6月21日	1.58%	0.25%
8	第225回利付国債	1.900%	2010年12月20日	1.51%	0.54%
9	第237回利付国債	1.500%	2012年3月20日	1.39%	0.63%
10	第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	1.39%	0.64%
合計				18.05%	4.72%
組入銘柄数				791銘柄	

「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

#### 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	82.14%	73.91%	8.23%
地方債	5.53%	6.29%	0.76%
政府保証債	6.52%	5.54%	0.98%
金融債	2.39%	2.23%	0.17%
事業債	6.42%	9.96%	3.53%
円建外債	0.00%	0.79%	0.79%
MBS債	0.00%	1.28%	1.28%
コール・その他	3.00%	0.00%	3.00%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

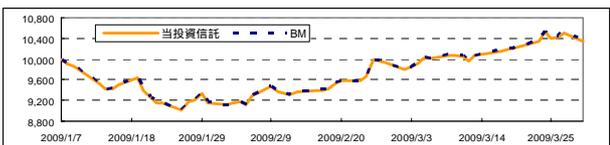
#### ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	1.01%	1.11%	0.10%
平均クーポン	1.58%	1.59%	0.01%
平均残存期間	7.10	7.04	0.06
修正デュレーション	6.33	6.29	0.04

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

### （参考情報）ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2009年3月末日現在]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	4.15%	-	-	-	-	3.44%
BM	4.23%	-	-	-	-	3.66%
差	0.08%	-	-	-	-	0.22%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。「BM」とは、ベンチマークを指します。

#### 当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス<sup>3</sup>(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当投資信託は、主としてステート・ストリート外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2010年10月15日	1.00%	0.15%
2	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.84%	0.18%
3	アメリカ国債	米ドル	4.000%	2010年3月15日	0.76%	0.00%
4	アメリカ国債	米ドル	3.875%	2010年5月15日	0.74%	0.19%
5	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2010年5月15日	0.73%	0.18%
6	ドイツ国債	ユーロ	5.250%	2011年1月4日	0.71%	0.37%
7	ドイツ国債	ユーロ	5.250%	2010年7月4日	0.68%	0.33%
8	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2012年9月30日	0.68%	0.16%
9	アメリカ国債	米ドル	3.875%	2010年9月15日	0.59%	0.14%
10	アメリカ国債	米ドル	5.000%	2011年2月15日	0.59%	0.27%
合計					7.33%	1.97%
組入銘柄数					395銘柄	

「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

ベンチマーク(BM)の比率は2009年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

#### 組入上位10カ国

	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	32.07%	32.28%
2	ドイツ	12.08%	12.09%
3	イタリア	11.62%	11.62%
4	フランス	10.47%	10.49%
5	イギリス	9.11%	9.09%
6	スペイン	4.37%	4.37%
7	ベルギー	3.39%	3.38%
8	オランダ	2.63%	2.63%
9	ギリシャ	2.61%	2.62%
10	カナダ	2.35%	2.38%
合計		90.70%	90.95%

#### ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	2.64%	2.64%	0.00%
平均クーポン	4.63%	4.41%	0.22%
平均残存期間	8.40	8.34	0.05
修正デュレーション	6.07	6.07	0.00

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。上記の属性は2009年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

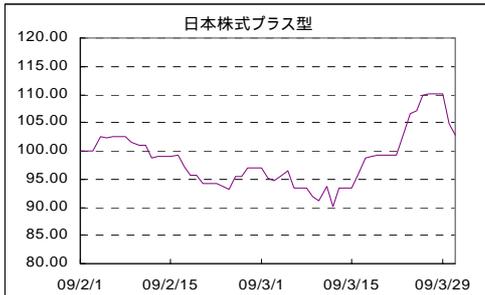
### 特別勘定 日本株式プラス型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+2.70%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別およびGICSセクター別で記載。)  
 当期の日本株式市場は、3月半ばまでの下落後、反発しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドのセクター配分は、資本財のオーバーウェイトなどがプラスに寄与しました。銘柄選択では、素材などがマイナス寄与となりました。グロース株Mファンドのセクター配分は、電気通信サービスのオーバーウェイトなどがマイナスに寄与しました。銘柄選択では、一般消費財・サービスなどがマイナス寄与となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。  
 今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	102.69	過去1ヵ月	6.05
2009年2月末	96.84	過去3ヵ月	-
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	2.70

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	169
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	169

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	日本株式プラス型	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	43	1.1
その他有価証券	3,916	98.9
合計	3,960	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 2 [2009年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 2

【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1)</sup>を行います。

当投資信託は、主としてパースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

#### 当投資信託の詳細情報

資産配分比率	基本資産配分	投資信託
バリュー株Mファンド*	50.00%	51.05%
グロース株Mファンド**	50.00%	49.01%
短期金融資産等	0.00%	-0.06%
合計	100.00%	100.00%

\* バリュー株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

\*\* グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	4.12%	-	-	-	-	10.52%
BM	3.45%	-	-	-	-	9.02%
差	0.67%	-	-	-	-	1.50%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>4)</sup>です。

・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

#### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.35%
2 三井物産	卸売業	4.21%
3 キヤノン	電気機器	3.54%
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.42%
5 日本電信電話	情報・通信業	3.16%
6 本田技研工業	輸送用機器	3.00%
7 KDDI	情報・通信業	2.94%
8 東日本旅客鉄道	陸運業	2.45%
9 第一三共	医薬品	2.40%
10 クボタ	機械	2.38%
合計		32.86%
組入銘柄数		79銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 外国株式プラス型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+8.54%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別およびGICSセクター別で記載。)  
 当期の外国の株式市場は、3月上旬まで下落した後、上昇に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュース株Mファンドのセクター配分は、金融のオーバーウェイトなどがマイナスに寄与しました。銘柄選択では、生活必需品などがプラス寄与となりました。グロース株Mファンドのセクター配分は、情報技術のオーバーウェイトなどがプラスに寄与しました。銘柄選択では、金融などがプラス寄与となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。  
 今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	108.54	過去1ヵ月	9.76
2009年2月末	98.88	過去3ヵ月	-
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	8.54

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	234
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	234

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	外国株式プラス型	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	33	1.2
その他有価証券	2,684	98.8
合計	2,717	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド - 1 [2009年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド - 1  
 【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリュース株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1)</sup>を行います。  
 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バースタイン・国際バリュース株・マザーファンド受益証券、アライアンス・バースタイン・国際グロース株・マザーファンド受益証券に投資します。

#### 当投資信託の詳細情報

資産配分比率	基本資産配分	投資信託
バリュース株Mファンド*	50.00%	50.63%
グロース株Mファンド**	50.00%	49.48%
短期金融資産等	0.00%	-0.12%
合計	100.00%	100.00%

\* バリュース株Mファンド:アライアンス・バースタイン・国際バリュース株・マザーファンド受益証券

\*\* グロース株Mファンド:アライアンス・バースタイン・国際グロース株・マザーファンド受益証券

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	4.72%	-	-	-	-	11.31%
BM	3.91%	-	-	-	-	10.19%
差	0.81%	-	-	-	-	1.12%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

MSCIコクサイ・インデックス<sup>3)</sup>(税引き後配当金込/円ベース)です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

#### 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	業態	投資信託
1	エクソン・モービル	アメリカ	エネルギー	石油	1.89%
2	ゴールドマン・サックス・グループ	アメリカ	金融	証券・投資銀行	1.82%
3	ウォルマート	アメリカ	生活必需品	小売	1.69%
4	クレディ・スイス・グループ	スイス	金融	総合金融	1.54%
5	AT&T	アメリカ	電気通信サービス	通信サービス	1.52%
6	スタイルハイドロ	ノルウェー	エネルギー	石油・天然ガス	1.36%
7	ロウズ	アメリカ	一般消費財・サービス	建材・家庭用品	1.30%
8	シェブロン	アメリカ	エネルギー	石油・天然ガス	1.26%
9	ボーダフォン・グループ	イギリス	電気通信サービス	移動体通信	1.24%
10	アパッチ	アメリカ	エネルギー	石油・天然ガス	1.23%
合計					14.83%
組入銘柄数					225銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

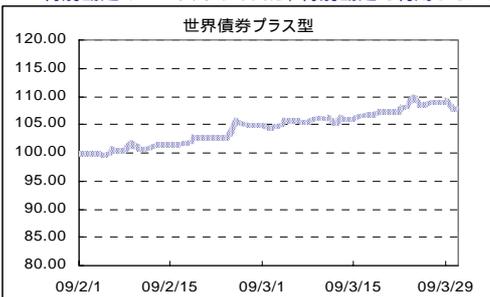
### 特別勘定 世界債券プラス型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+8.03%となりました。当期の世界の債券市場は、発表された経済指標が景気後退の深刻化を示すものとなったことなどから概ね上昇（利回りは低下）しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、相対的に軟調に推移した社債を組入れていたことなどがマイナス要因となった一方、国債のイールドカーブ戦略などがプラスに寄与しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	108.02	過去1ヵ月	2.85
2009年2月末	105.03	過去3ヵ月	-
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	8.03

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	53
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	53

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	14	1.2
その他有価証券	1,200	98.8
合計	1,215	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 3 [2009年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 3

【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.58%	-	-	-	-	2.48%
BM	1.02%	-	-	-	-	1.58%
差	1.56%	-	-	-	-	0.90%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

シティグループ世界国債インデックス(円ベース)<sup>6</sup>です。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 日本国債	日本	1.400%	2013年12月20日	Aa3	AA	6.41%
2 イギリス国債	イギリス	5.000%	2018年3月7日	Aaa	AAA	5.75%
3 ドイツ国債	ドイツ	4.250%	2017年7月4日	Aaa	AAA	4.76%
4 日本国債	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa3	AA	4.38%
5 日本国債	日本	1.500%	2017年12月20日	Aa3	AA	4.32%
6 日本国債	日本	1.300%	2014年3月20日	Aa3	AA	3.87%
7 ドイツ国債	ドイツ	3.750%	2017年1月4日	Aaa	AAA	3.69%
8 イギリス国債	イギリス	8.000%	2015年12月7日	Aaa	AAA	3.53%
9 ドイツ国債	ドイツ	3.250%	2015年7月4日	Aaa	AAA	3.25%
10 米国国債	アメリカ	2.750%	2013年10月31日	Aaa	AAA	3.22%
合計						43.18%
組入銘柄数						113銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2009年1月～2009年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

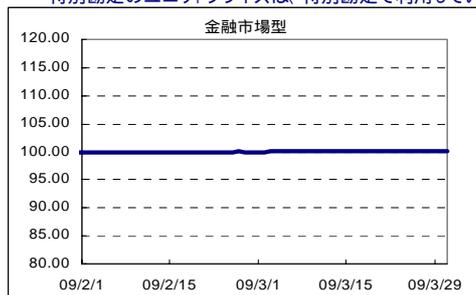
### 特別勘定 金融市場型 [2009年3月 末日現在]

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は+0.01%となりました。  
 当期の日本の短期金融市場は、景気減速懸念の高まりから、銀行間金利が上昇圧力を受けたことや市場の流動性の急激な低下等が大きな悪材料となりました。利用する投資信託では、主に日本政府が発行する割引短期国債(TB)や政府短期証券(FB)を中心に投資を行うとともに、利回り向上を念頭に、ごく期間の短い高格付けの非国債債券への投資も行いました。  
 今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



日付	ユニットプライス	騰落率(%)
2009年3月末	100.01	過去1ヵ月 0.02
2009年2月末	99.99	過去3ヵ月 -
2009年1月末	100.00	過去6ヵ月 -
-	-	過去1年 -
-	-	過去3年 -
-	-	設定来 0.01

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	0
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	0

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	38	15.0
その他有価証券	217	85.0
合計	255	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### (参考情報) アクサ ロ - ゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) 適格機関投資家私募 [2009年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ロ - ゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

当投資信託は、主としてアクサ・ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.11年	26.17%
短期資産等	0.10年	73.83%
合計	0.11年	100.00%

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を

示す指標として用いられ金利の変化に対する

債券価格の変動率を示します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.08%	0.18%	0.29%	0.52%	1.19%	1.24%
BM	0.01%	0.03%	0.11%	0.36%	1.09%	1.17%
差	0.07%	0.15%	0.18%	0.15%	0.09%	0.07%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

日本円無担保コールオーバーナイト物レートの<sup>1)</sup>により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「\*1～\*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 用語説明

- \*1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- \*2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- \*3 「シティグループ世界国債インデックス」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。シティグループ世界国債インデックスはシティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。
- \*4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*5 「MSCIコクサイ・インデックス」とは、MSCI Inc. が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIコクサイ・インデックス(税引き後配当金込/円ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(税引き後配当金込/米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- \*6 「シティグループ世界国債インデックス(円ベース)」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティグループ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。
- \*7 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について

### 【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

### 【諸費用について】

#### < 保険料払込時および保険期間中にかかる費用 >

(以下の各費用の合計額をご負担いただきます。)

#### 保険関係費

##### < 主契約部分 >

保険契約の締結、維持などに必要な費用を主契約の保険料から控除します。主契約の保険料からこの費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。また、特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用を積立金額から定期的に控除します。

なお、上記の費用は、被保険者の年齢などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。

##### < 特約部分 >

特約を付加された場合は、主契約の保険料とは別に特約部分の保険料をご負担いただきます。

特約部分の保険料は特別勘定では運用いたしません。

また、契約条件に関する特約(08)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。

特別保険料は特別勘定では運用いたしません。

特約部分の保険料および特別保険料は生命保険証券でご確認ください。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について

運用関係費			
項目		費用	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.61635%</b> 程度 (税抜:0.587%程度) <sup>*1</sup>	特別勘定にて 利用する投資信託において、 毎日、 投資信託の純資産額から 控除します。
	積極運用バランス型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.74340%</b> 程度 (税抜:0.708%程度) <sup>*1</sup>	
	日本株式プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.99750%</b> 程度 (税抜:0.950%程度)	
	外国株式プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.99750%</b> 程度 (税抜:0.950%程度)	
	世界債券プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.68250%</b> 程度 (税抜:0.650%程度)	
	金融市場型	投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.034125% ~ 0.48300%</b> 程度 (税抜:0.0325% ~ 0.4600%程度) <sup>*2</sup>	

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

\*1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動等に伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

\*2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

### <解約時にかかる費用>

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日の積立金額から控除します。

解約控除額は保険料払込年月数などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

基本保険金額を減額されたときは、減額は解約されたものとしてお取扱いします。

保険料払込年月数が10年未満の場合に定額払済養老保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。

### <積立金の移転に関わる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	[書面による移転申込みの場合] 月1回1,500円、 2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		[インターネットによる移転申込みの場合] 月1回の移転は無料、 2回目からは1回につき800円	

積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。

積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

### <年金払特約、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用>

項目	項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや 管理などに必要な 費用	年金額に対して <b>1.0%</b>	年単位の契約当日に責任準備金から控除します。

年金管理費は、将来変更される可能性があります。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>